

大腸がん検診

【検査内容】 便潜血検査

便に混じった血を検出する検査です。

ご家庭で2日分の便を採取します。

【採便】 採取容器に2日分の便をとってください。

1日の便しかとれなかった場合も検査できます。

※便秘薬を使用されても検査できます。

※2日分の採便ができないことが予想される場合は、1日の便からできるだけ部位を変えて2検体を取るようによみましょう。

【日数】 採便から検診当日まで、5日を越えないようにしてください。

※採便後は、冷蔵または冷暗所で保存ください。

【ご注意】 ①採便容器に「便をとった日」「氏名」をボールペンでご記入ください。



胃がん検診

【検査内容】 胃エックス線検査

胃を膨らませる薬（発泡剤）とバリウム（造影剤）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査です。

【食事】 検診前日は、午後9時以降は何も食べないでください。水のみ、受付時間の3時間前まで150ml程度飲んでいただけます。

【薬】 服薬されている人は、主治医にご相談ください。

【服装】 ボタン・金具のついていない下着等を着用してください。

また、着脱しやすい服装でお越しください。

【ご注意】 ①妊娠、その可能性がある人は受診できません。

②衣服の着脱が必要なため、男女わけて検査をしますので順番が前後する場合があります。

③バリウムを飲んだ後は、なるべく早くバリウムを排出する必要があります。水分を多く摂取し下剤を服用するなど、なるべく当日中に排便できるように気をつけましょう。



肺がん検診・結核検診

※感染症法において、65歳以上の人は毎年結核検診を受診するよう規定されています。

【検査内容】 胸部のエックス線撮影

胸部全体を撮影するため、大きく息を吸いこんで、しばらく息を止めて撮影します。

【服装】

①ボタン・金具・プラスチック類も写り込みますので、肌着1枚になれるようにしてください。

②着脱しやすい服装でお越しください。

【ご注意】

①妊娠中、その可能性がある人は受診できません。

②衣服の着脱が必要なため、男女数名ずつわけて検査をしますので、順番が前後する場合があります。

喀痰検査

【検査内容】

喀痰細胞診

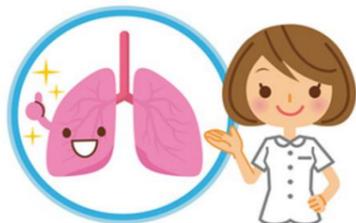
痰に含まれる細胞や成分を測定する検査です。

早朝3日間の痰を採取します。

正確な検査結果を得るために、3日間採痰ください。

【採痰】 正確な検査のため、痰の採取は裏面表紙に記載の日程をお願いします。

【ご注意】 検診当日の間診等で、50歳以上の喫煙歴（過去の喫煙も含みます）がある人は喀痰検査を受けることをお勧めします。



胃がん検診を受ける人は、検査当日は

『入れ歯安定剤』の使用をお控えください。

バリウム液と反応して、安全に検査が実施できない恐れがあります。



ピロリ菌検査

【検査内容】 便中ヘリコバクターピロリ抗原検査

便を少量採取し、ピロリ菌に感染しているかどうかを特有の抗原の有無で調べる検査です。

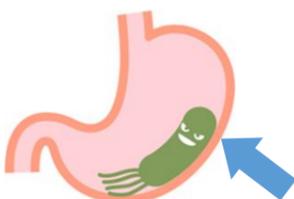
※胃がんの多くは、ピロリ菌感染が原因であると言われています。

※ピロリ菌の除菌治療を健康保険適用下で受けるには、胃内視鏡検査等の条件が必要です。

【採便】 採取容器に1日分の便を取ってください。※便秘薬を使用されていても検査できます。

【日数】 採便から検診当日まで5日を越えないようにしてください。

【ご注意】 採便容器に「便をとった日」「氏名」をボールペンでご記入ください。



乳がん検診

【検査内容】 マンモグラフィ

（乳房X線撮影）

乳房を片方ずつプラスチックの板で挟み、乳房を数十秒圧迫して撮影します。

【服装】 着脱しやすい服装でお越しください。

【ご注意】

①乳房疾患で治療中・経過観察中の人、または妊娠その可能性のある人は受診できません。

②授乳中または断乳直後の人、心臓ペースメーカーを装着されている人、乳房内に人工物が入っている人、胸部外傷で治療中の人、受診を控えてください。



子宮頸がん検診

【検査内容】 細胞診

子宮頸部を専用の器具でこすって細胞を取り、顕微鏡で調べる検査です。

【服装】 着脱しやすい服装でお越しください。

【ご注意】

①生理期間中の方は、受診できません。

②婦人科治療中の人、および妊娠中またはその可能性のある人は、主治医にご相談ください。

③子宮頸部の細胞を採取するため、出血する場合がありますので、生理用ナプキンをご持参ください。



近年子宮がん患者増加傾向

HPV検査

※子宮頸がん検診を受診される方に限ります。

【検査内容】 ヒトパピローマウイルス（HPV）検査

子宮頸部を専用の器具でこすって細胞を取り、HPV感染しているかどうかを調べる検査です。

※感染の多くは一時的なもので、免疫力で自然に排除されますが、感染した状態が長く継続すると子宮がんが引き起こされます。

ご不明な点については、お気軽にお問い合わせください。

高取町保健センター 0744-52-5111